

NEWSLETTER

2019.9.2

THE ACADEMY OF CLINICAL DENTISTRY

理事長就任挨拶 2

黒岩 昭弘

新常任理事コメント 2, 3

林 美穂

菅野 詩子

櫻井 健次

安光 崇洋

須呂 剛士

第19回 咬合フォーラム

真・顎咬合学 —噛める咬合治療—

抄録 / プログラム 4, 5

● 第37回 日本顎咬合学会学術大会・総会報告

学術大会・総会報告 / 表彰者一覧 6

● 第38回 日本顎咬合学会学術大会・総会

会員発表の登録方法変更のお知らせ 7

咬み合わせベーシックセミナー 7



特定非営利活動法人 日本顎咬合学会 ニュースレター No.82

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-8-2 山京半蔵門パレス 201 TEL : 03-6683-2069 FAX : 03-6691-0261

ホームページ URL : <http://www.ago.ac/>



第15代 日本顎咬合学会 理事長就任挨拶

人生 100 歳時代「臨床力」を構築するために



黒岩昭弘 理事長 上田秀朗 前理事長

日本顎咬合学会 理事長 黒岩 昭弘

第15代日本顎咬合学会理事長に就任いたしました黒岩昭弘でございます。学会の発展のために全力を尽くしますので、会員の皆様にはこれまでと変わらず会の運営にご協力くださいますよう謹んでお願い申し上げます。

さて、渡辺隆史先生、上濱正先生によって提言された「新・顎咬合学」は、上田秀朗前理事長のもとで「真・顎咬合学」へと発展し、「会員の方々に十分に顎咬合学を理解・実践すること」「歯科界をもっと元気にしよう」をスローガンに第37回学術大会では多くの会員に参加いただいたことは記憶に新しいところです。また、昨年竹内孝仁先生、南清和先生方によって立ち上げられた「自立支援歯科学」は、1,300人収容のホールを埋め尽くさんばかりに皆さんが集い「口から食べることの大切さ」について歯科・医科そして介護

の方々が考察を加え、ともに連携しながら諸問題を解決する時代が到来したことを実感しました。昨年、日本は48万人もの人口減少があり、確実に少子高齢化が進展しています。先進国の中でも特異な人口構造の変化に対して、本学会も何が国民のニーズなのかを探りながら、「咬み合わせ」に特化して集った私たちが国民の健康を支えていかなければなりません。

私は新たにテーマとして「人生100歳時代 臨床力を磨く」を掲げました。本会の指導医、国内外の先生方が咬合を中心としたさまざまな分野の知識や技術を携え、ともに競い、刺激を受けながら咬合のエキスパートとして、どの分野からもどの年齢の患者さんにも長期にわたって良好で安定した結果をもたらす治せる力としての『臨床力』を構築していただきたいと思っております。特に若い会員の方には患者さんから喜ばれ『歯科医になってよかった』と思う経験をしていただきたいですし、指導医や認定医の皆様に対しても万全な体制を整えております。最終的には本学会会員であることに誇りを持てるような学会を目指していきます。

そしてもう一つの新しい潮流がこの学会に訪れています。広告開示可能な専門医制度の認証です。これに関しては実現へ向けて準備を進めてまいります。これからの学会の向かう方向や認定医・指導医との関係など多くの議論を尽くし、日本顎咬合学会らしい専門医を樹立したいと思っております。

どうか多くの先生方のご理解とご協力、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

新常任理事コメント



林 美穂

この度、常任理事を拝命いたしました、林 美穂と申します。学術委員会の副委員長も併任させていただきます。学術委員長の中島稔博先生をサポートし、黒岩昭弘理事長の想いを叶えるため、本学会の車輪の一つとなるよう微力ながら頑張ります。また、女性歯科医師の増員にも取り組んで参ります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



菅野 詩子

卒業と同時に本学会に入会して22年が経ち、理事を拝命してからのこの14年間、諸先輩の先生方の日常臨床に対する情熱と、本学会への献身的な活動を身近で拝見し、大変多くの事を学び、また言葉には言い表せないほど貴重な経験をさせていただいております。総務企画委員会に包括されておりました利益相反(COI)が、今期より委員会として新しく設立されることとなり、新委員会の委員長と常任理事を拝命しました。会員の皆様方に、COIにつきまして、分かり易い形でお伝えできますよう取り組んで参りますので、ご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。



櫻井 健次

この度、新たに常任理事を拝命しました櫻井健次と申します。趣味は剣道です。剣道をつうじて人生においての人間形成を学んでおります。当学会の歴史と伝統をしっかりと継承し、また新常任理事として会員と執行部の橋渡し、さらに地区との連携を密にとり、会員の皆様が当学会に入って心から良かったと思えるよう取り組んでいきます。また若手の活躍が学会の活性化、発展につながると確信しております。広報として会員数1万人を目指していきます。これからもどうぞよろしく願いいたします。



安光 崇洋

この度、プログラム委員会筆頭副委員長を拝命しました、安光崇洋です。黒岩理事長はじめ、倉富プログラム委員長のもと、まずは2020年第38回学術大会が盛況になるよう、また2021年第39回学術大会につながっていくように頑張ります。そしてさらなる日本顎咬合学会の発展に少しでもお役に立てればと考えております。よろしく願いいたします。



須呂 剛士

このたび、常任理事と顎咬合学推進委員会の委員長を拝命いたしました。会員数が8,500名を超える学会の運営に携わるといふ責任の重大さを痛感していますが、私を臨床家として育てていただいたこの学会のために微力ながら尽くして参りますので、より一層のご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。



2019. 7. 30 辞令交付式

■ 理事長 黒岩 昭弘

■ 次期理事長 貞光 謙一郎

■ 前理事長 上田 秀朗

■ 副理事長 依木 勉 倉富 覚 松崎 浩成

■ 専務理事 金沢 紘史

■ 常任理事 上野 道生 平井 順 岸本 英之 登内 敏夫 関野 愉 中島 稔博 田中 憲一 村田 雅史 難波 鎌久

林 美穂 菅野 詩子 櫻井 健次 安光 崇洋 須呂 剛士 榊原 功二 鍵和田 優佳里

■ 監事 河津 寛 富野 晃 渡辺 隆史 南 清和

■ 顧問 菅野 博康 河原 英雄 小林 和一 岩田 健男 山地 良子 鈴木 尚 桑田 正博 林 崇民

第19回

咬合フォーラム

真・顎咬合学 —噛める咬合治療—

2019.9.29 (Sun)

9:15～15:30(開場 8:50)

札幌パークホテル パークホール

学術委員長挨拶



中島 稔博

昨年9月6日、北海道で大規模な地震が発生し、大きな被害が出ました。被災した方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、被害の大きかった地域の一刻も早い復興を願っております。北海道支部の先生方におかれましても、事前の準備に多大なるご尽力いただいておりますにも関わらず、中止せざるをえないという大変残念な結果となってしまいました。そこで、今回の咬合フォーラムは、前回の企画のもと北海道で開催する運びとなりました。近年では、超高齢化社会において、本当の意味で「噛める」ことが患者さんの健康に非常に大きな意味をもつことが解明され、医科との連携もより緊密なものとなってきております。

そこでメインテーマを「真・顎咬合学—噛める咬合治療」とし、患者さんが本当の意味で「噛める」ことにスポットを

当て、古谷野潔先生（九州大学大学院歯学研究院院長・口腔機能修復学講座教授）には、患者さんが「噛める」咬合治療を実践するための基本的な理論や考え方を、玉置勝司先生（神奈川歯科大学顎口腔機能修復科学講座教授）には「噛める咬合治療」の臨床的意義や超高齢社会に向けての展望を、河原英雄先生には、患者さんに「噛める」義歯を提供するための臨床的な実践法を、ご講演いただきます。また、富野晃先生（北海道開業）に座長の労をお願いし、3名の先生方のご講演を更に深く紐解いていただきます。

さらに、今回は従来の講演会と少し切り口を変えて、会場の皆様と一体となって活発なディスカッションができるように企画いたしました。参加していただいた方々にとって有意義なフォーラムになることと確信しております。

最後に、今回の開催にあたり、多大なるご尽力を頂戴いたしました太田祥一北海道前支部長、高橋徹次支部長をはじめ、支部委員の先生方に厚く御礼申し上げます。

Program

09:20～10:50

咬合理論の臨床での有効性を再考する



古谷野 潔

九州大学大学院
歯学研究院 院長・
口腔機能修復学
講座 教授

咬合は、歯科医師なら誰もが毎日考え、取り組まねばならない歯科医学の基本的テーマである。しかし、最近は咬合理論についての議論はやや下火のようでもある。そこで今回あらためて咬合理論の臨床での有効性について考えてみたい。講演ではまず、咬合理論の歴史の変遷を概観し、総義歯の咬合理論と有歯顎の咬合理論の基本的な違いについて考察する。その上で、咬合理論で取り上げられる中心位、咬合様式とアンテリアガイダンス、咬頭嵌合位と中心位などの要素が臨床的に有効かについて、文



座長：富野 晃

医療法人社団富野会
山の手パール歯科クリニック

献レビューに基づいて検証する。

従来の咬合理論では、上記の咬合要素についての基準を満たしていないと病的（要治療）と判断される。しかし、既定の基準を満たしていなくても、顎口腔系に特に問題なく過ごしていて、特に治療が必要とは考えられないヒトはたくさん存在する。そこで近年、咬合については正常と異常あるいは理想的と病的の2つに分けるのではなく、①理論的理想咬合、②生理的咬合、③非生理的咬合、④治療的咬合の4つに区別して考えることが提案されているので、この提案についても紹介したい。また、時間の許す限り、顎関節症と咬合、咬合と力、ブラキシズム、インプラントの咬合などのトピックを取り上げ、現代の咬合学について考える。

11:00~12:30

噛める咬合治療を求めて—術者側の咬合理論と患者側の咬合感覚の両面から診る必要性—



玉置 勝司
神奈川歯科大学
顎咬合機能回復補綴医学講座 教授

『咬合』は、顎咬合学会のメインテーマである。1900年初め、咬合理論は無歯顎者に対する咬合構築理論から始まり、1920年代、蝶番軸、中心位、下顎運動計測から咬合器上で機械論的に咬合構築を有歯顎への咬合理論としてカリフォルニアにおいて“ナソロジー”が完成した。一方、1960年代、生体の筋肉および神経筋機構を重視した生理学的咬合理論が北欧を中心とするスカンジナビア学派により提唱された。その後、1982年に東欧のオーストリアから機械論的な部分と生理学的な両面から下顎位、骨格パターン、下顎運動の計測から構築する“シーケンシャル咬合理論”が

紹介された。神奈川歯科大学附属病院では2001年に“咬み合わせ外来”を開設し、咬合に主訴を持つ患者に対してこの咬合理論に基づいた対応を行ってきた。しかしながら、適切に咬合構築が実施された患者の中に、どうしても受け入れられない、痛みではないが違和感があると執拗に訴える患者に遭遇した。そのような患者に対して2002年から心身医学的医療面接を実施し検討してきた。2013年日本補綴歯科学会において『咬合違和感症候群 (Occlusal discomfort syndrome : ODS)』を提唱した。さらに、現在は咬合違和感の分類やその修飾因子について分析中で、末梢と中枢から統合される咬合感覚は今後の歯科医学における大きなテーマになるであろう。皆様と症例を通じてディスカッションできれば幸いである。

13:30~15:00

リマウントによる咬合調整のススメ（総義歯編）



河原 英雄
歯科医師

超高齢社会となった日本である。2016年、8020の達成率が51.2%と報告された。この結果から「高齢者の無歯顎患者は減少するだろう」と囁かれている。しかし現状は減少するどころか、高齢者の人口増加により無歯顎者は増加の一途をたどっている。高齢者の介護施設でも、噛めない総義歯のために満足した食事ができない人が、少なくない。

このたび日本自立支援介護・パワーリハ学会主宰の国際医療福祉大学大学院教授 竹内孝仁先生から自立支援歯科学の

発足を提案された。それに伴い、我々歯科医への高齢者の口腔機能の維持回復にますます期待が寄せられている。今こそ、歯科医としての役割を果たし、期待に応える時である。しっかり噛める総義歯を提供してこそ、国民に歯科医の本当の価値を知ってもらうことができる。歯科医療の現場を預かる私たちは、高齢者の暮らしを支える医療の実現に力を注ぐべきである。患者さんが現在使用中のうまく噛めない総義歯をリマウント調整により、前歯でも噛める総義歯に改善する方法とそれが高齢者の生活をどのように変えるか、について報告する。

15:00~15:30 ディスカッション

THE ACADEMY OF CLINICAL DENTISTRY

第37回 日本顎咬合学会学術大会・総会 報告

2019年6月22日、23日、東京国際フォーラムにて、第37回日本顎咬合学会学術大会・総会を開催しました。2日間で4,654名の参加者をお迎えして、成功裡に閉会いたしました。今回はテーマを「真・顎咬合学 最新歯科医療最前線—夢ある歯科界の再構築」とし、各分野の日本を代表する先生方にご講演いただきました。特別講演ではBach Le氏にご登壇いただきました。また、今回、初の試みとして、公開フォーラムを異なるテーマで二日間にわたり開催しました。その他、臨床に即したレベルの高

い口演、ポスター発表が行われました。参加いただきましたすべての関係者に感謝申し上げます。

【参加者内訳】

歯科医師 2,821名 歯科技工士 405名 歯科衛生士 962名
 歯科助手 147名 賛助会員 108名
 準会員・臨床研修医・学生・その他 211名

第37回 学術大会 表彰者一覧

若手歯科医師の登竜門 支部選抜優秀発表者

林 宏暁 (東北支部)
 小西 浩介 (関東・甲信越支部) 矢澤一浩賞
 栗谷 英信 (近畿・中国・四国支部)

学会誌 論文賞

松岡 力
 坂口 政磯 歯科医師部門
 藤野 茂

第36回 学術大会優秀発表者 (口演)

力丸 哲哉 (歯科医師) 尾崎 大祥 (歯科医師)
 溝上 宗久 (歯科医師) 森 裕之 (歯科医師)
 勝部 義明 (歯科医師) 永田 一樹 (歯科医師)
 岡本 寛之 (歯科医師) 中村 浩明 (歯科技工士)
 西田 有希 (歯科医師) 山岡 由嘉代 (歯科衛生士)

第36回 学術大会優秀発表者 (ポスター)

川里 邦夫 (歯科医師) 石田 明 (歯科技工士)
 藪 健一郎 (歯科医師) 伊東 祐衣 (歯科衛生士)
 河方 知裕 (歯科医師)

メーカー賞

佐藤 孝仁 (歯科医師) カボデンタル賞
 石川 太一 (歯科技工士) モリタ賞
 洪 知香 (歯科衛生士) ヨシダ賞



矢澤一浩賞



論文賞



第36回 学術大会優秀発表者 (口演)



第36回 学術大会優秀発表者 (ポスター)



カボデンタル賞

モリタ賞

ヨシダ賞

会員発表(口演・ポスター)の登録方法が新しくなります！

第38回日本顎咬合学会学術大会・総会における会員発表(口演・ポスター)のホームページでの登録方法が新しくなります。以下の通り概要およびスケジュール等についてご確認ください。

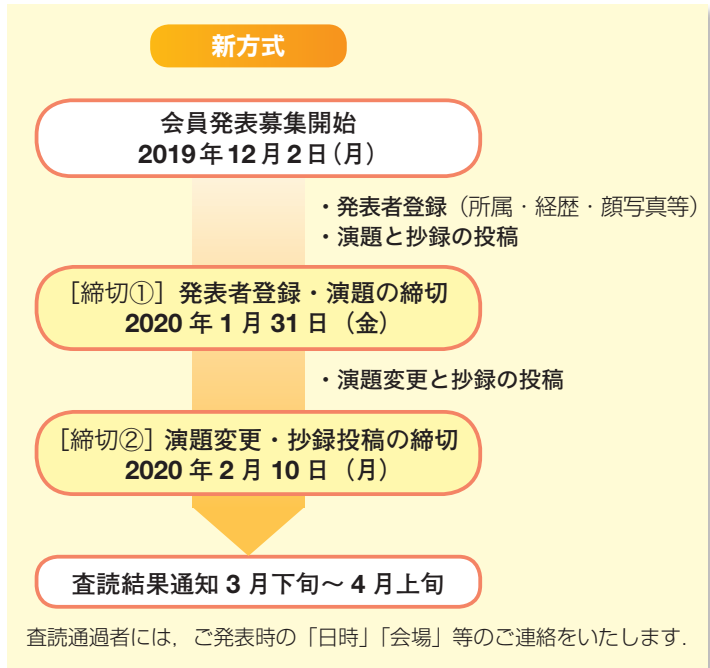
会員発表募集開始日:2019年12月2日(月)

[締切①] 発表者登録・演題投稿の締切日
2020年1月31日(金)

発表者の所属先・経歴・顔写真等の登録は、この期間内に完了させてください。期日以降の変更はできません。また、演題投稿も必須です。ただし、演題は次の[締切②]まで変更が可能です。抄録の投稿も可能です。

[締切②] 演題変更・抄録投稿の締切日
2020年2月10日(月)

この締切日以降の演題・抄録文のテキストのご自身での変更はできません。ただし、査読の結果によっては、査読委員の指示のもと、ご変更いただく場合があります。



「咬み合わせベーシックセミナー」を開催しております！

2019年度はインストラクター育成のため指導医を対象に開催しております

2020年度から会員に公募いたします(日程は決まり次第、追って告知いたします)。

<セミナーの趣旨>

本学会の特徴である「咬合」はいまだ多くの考えがあり、歯科界でも統一されるには至っていないのが現状です。これは、議論的「咬合」とするとあまりにも範囲が広いがゆえともいえるでしょう。しかしながら、「咬合の基本」と言われる部分を、日常臨床に抵抗なく取り入れていただくことができないものかを考えてみると、「咬頭嵌合位」に関しては、どなたにも共通の認識を持って取り組んでいただくことができるものと思います。咬頭嵌合位が『安定した下顎位』に構築されているかどうか、咬頭嵌合位の現状を知ること、つまり咬合診査・診断の基礎ができるようになることが、咬合を考える第一歩となり、この基礎をルーチンワークとしてできるようになれば、日常歯科臨床は飛躍的に改善するものと考えます。『咬み合わせベーシックセミナー』は、咬合器・フェイスボウを持っていない、使っ

たことがない若い先生方、そして中堅でも咬合に苦手意識をお持ちの先生方に、「咬合診査・診断」の基礎ができるようになっていただくために、全国共通の講義・実習が行えるシステムとして立ち上げました。

- ・対象者(2020年度以降):認定医および認定医を目指す一般会員歯科医師
- ・セミナー概要
【ビデオ講義】(ビデオ講義のみの受講はできません)
【実習内容】①咬合採得, ②facebow, ③上顎模型マウント, ④咬合採得記録トリミング, ⑤下顎模型マウント, ⑥咬合診査
- ・6支部で順次開催
- ・認定単位:10単位, 受講証明書の発行

◆ 2019年度 各支部の事業予定 (自 2019年4月1日～至 2020年3月31日)

支部名	区分	開催日	会場	内容、講師等
北海道	認定医 教育研修会	2019年 11月9日(土)	北海道歯科医師会館 (北海道札幌市)	テーマ:「心地よく咬むために土台を作る―ペリオを極める―」 申基喆先生(明海大学歯学部口腔生物再生医工学講座歯周病学分野教授) 水上哲也先生(福岡県開業)
	支部学術大会	2019年 11月10日(日)	北海道歯科医師会館 (北海道札幌市)	テーマ:「新時代! 咬合を極める!!!」 特別講演Ⅰ:黒岩昭弘先生 特別講演Ⅱ(衛生士部門):小林明子先生 会員発表:歯科医師 10題、歯科技工士 5題
東北	認定医 教育研修会	2019年 11月30日(土)	宮城県歯科医師会館 (宮城県仙台市)	テーマ:「心地よく咬むために土台を作る―ペリオを極める―」 申基喆先生(明海大学歯学部口腔生物再生医工学講座歯周病学分野教授) 谷口威夫先生(長野県開業)
	支部学術大会	2019年 12月1日(日)	宮城県歯科医師会館 (宮城県仙台市)	テーマ:「調整の少ない補綴物を入れよう!世界一やさしいTCHとTooth Wear入門」 【Dr・DT向け特別講演】「調整の少ない補綴物を入れよう」 バーシャルデンチャー 佐藤勝史先生 インプラント・クラウンブリッジ 小川洋一先生 【DH向け特別講演】「世界一やさしいTCHとTooth Wear入門」 Tooth Wear 黒江敏史先生、TCH 櫻井善明先生、林智恵子先生 有料ハンズオンセミナー 3題、会員発表 10題
関東 甲信越	認定医 教育研修会	2019年 10月19日(土)	ベルサール東京日本橋 (東京都中央区)	テーマ:「心地よく咬むために土台を作る―ペリオを極める―」 関野 倫先生(日本歯科大学生命歯学部歯周病学分野准教授) 谷口威夫先生(長野県開業)
	支部学術大会	2019年 10月20日(日)	ベルサール東京日本橋 (東京都中央区)	テーマ:「令和元年!新時代を見据えた日本の歯科医療」 特別講演:歯科医師対象2題、歯科技工士対象2題、歯科衛生士対象2題 ハンズオン 2題、テーブルクリニック 5題、ランチョンセミナー 3題 会員発表 9題
中部	認定医 教育研修会	2019年 11月16日(土)	栄ガスビル キングルーム (愛知県名古屋市)	テーマ:「心地よく咬むために土台を作る―ペリオを極める―」 関野 倫先生(日本歯科大学生命歯学部歯周病学分野准教授) 水上哲也先生(福岡県開業)
	支部学術大会	2019年 11月17日(日)	栄ガスビル 栄ガスホール【咬合・補綴】 キングルーム【歯周治療】 (愛知県名古屋市)	テーマ:「これからの歯科技工と歯周治療を考える!!!」 【咬合・補綴セッション講演】デジタルVSアナログ 知恵とテクノロジーの融合 加藤尚則先生(株式会社カスプデンタルサプライ/カナレテクニカルセンター) 佐藤幸司先生(佐藤補綴研究室) 【歯周治療セッション講演】イテボリから学ぶエビデンスベースの歯周治療 福井秀和先生(さつき歯科医院) 会員発表 7題
近畿 中国 四国	認定医 教育研修会	2019年 11月3日(日)	AP大阪駅前梅田1丁目 APホール (大阪府大阪市)	テーマ:「心地よく咬むために土台を作る―ペリオを極める―」 申基喆先生(明海大学歯学部口腔生物再生医工学講座歯周病学分野教授) 谷口威夫先生(長野県開業)
	支部学術大会	2019年 11月4日(月・祝)	AP大阪駅前梅田1丁目 APホール Aルーム (大阪府大阪市)	テーマ:「チーム医療の大切さ」 特別講演:長谷川嘉昭先生(長谷川歯科医院)、川崎律子先生(長谷川歯科医院) 歯科衛生士対象特別講演:原野晶代先生、石川華子先生(なかやま歯科) 会員発表 6題
九州 沖縄	認定医 教育研修会	2019年 12月7日(土)	エルガーラホール (福岡県福岡市)	テーマ:「心地よく咬むために土台を作る―ペリオを極める―」 関野 倫先生(日本歯科大学生命歯学部歯周病学分野准教授) 水上哲也先生(福岡県開業)
	沖縄県主催 認定医研修会	未定	未定 (沖縄県)	未定
	支部学術大会	2019年 12月8日(日)	エルガーラホール (福岡県福岡市)	テーマ:「チームで取り組む! 歯科医療!!!」 特別講演:歯科医師・歯科技工士対象 大森有樹先生 歯科衛生士対象 安生朝子先生 テーブルクリニック 2題、会員発表:歯科医師 7題、コデンタルスタッフ 5題



◆ 会員カードについて

学術大会・咬合フォーラム・研修会などの受付手続きや単位申請(申請方法は会によって異なります)に必要となりますので開催時には必ずご持参頂きますようお願いいたします。

◆ 学会ホームページの「会員専用ページ」をご利用ください

- ・勤務先・自宅・お届け先など登録内容の確認・変更
- ・認定資格・単位取得状況の確認
- ・年会費のお支払(カード決済)、お支払状況の確認
- ※コンビニ・郵便振替をご希望の方は事務局までご連絡ください

- ・2019年度の年会費の納入がまだお済みでない方は、至急お振込みをお願いいたします。
- ・過去に未納分がございますと、認定試験、認定医の更新、学術大会への参加ができませんのでご注意ください。
- ・学会からの発送物は郵便及びメール便を利用しています。メール便の場合は転送されませんのでお届けできない場合がございます。勤務先の変更、転居等登録内容に変更が生じた場合は、至急変更のお手続きをお願いいたします。
- ・「会員専用ページ」のご利用には、会員ID(会員No)とパスワードが必要です。ご不明な場合は事務局までお問い合わせください。